

大人も企業もがんばってるよ

みんなと同じように、大人も会社や家で、また世界の人と協力してさまざまな取り組みを行っています。その一部を紹介します。

《地球温暖化防止に向けての取り組み》

「地球温暖化」問題に対して、日本だけでなく、世界全体で取り組みを進めるための取り決めがなされました。

1997年12月 地球温暖化防止京都会議開催

世界161カ国が集まり、地球温暖化を防止するための取り組みについて、話し合いが行われました。

その結果、「京都議定書」が定められました。

京都議定書って？

2000年以降の先進国の地球温暖化対策として、二酸化炭素などの温室効果ガスを2002年～2012年の間に、先進国全体で1990年に比べ5.2%減らそうという取り決めをした約束書のこと。

日本は、1990年に比べ6%減らすことになっています。

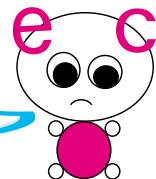
それから
→

2002年6月 日本の「京都議定書」批准

日本では、削減目標を達成する法制度が制定され、「京都議定書」が批准（国が内容を認めるこ）とされました。

今後、6%削減という約束を守るために、本格的に対策を実行していくかなければなりません。

これからは、
温 暖 化 防
止に向けた実践行動が求め
られます。どんなことをし
たらいいのかな？



ちょっとしたこと、こんな効果が!!

* 1世帯当たりの年間効果を示しています

こんなことに取り組んだら…	二酸化炭素削減量	年間節約金額
①エアコンは、冷房は1°C高く、暖房は1°C低くする	約31kg／年	約2,000円
②週2日、往復8kmの車の運転を控える	約185kg／年	約8,000円
③1日5分間のアイドリングストップを行う	約39kg／年	約2,000円
④待機電力を90%減らす（13ページ参照）	約87kg／年	約6,000円
⑤シャワーを1日1分、家族全員が減らす	約65kg／年	約4,000円
⑥あふろの残り湯を洗たくに使う	約17kg／年	約5,000円
⑦ジャー（ご飯を保温するもの）の保温を止める	約31kg／年	約2,000円
⑧家族が同じ部屋で過ごして、暖房と照明を20%減らす	約240kg／年	約11,000円
⑨買い物袋を持ち歩き、包装の少ないものを選ぶ	約58kg／年	——
⑩テレビ番組を選び、1日1時間、テレビ利用を減らす	約13kg／年	約1,000円
合計	約766kg／年	約41,000円

日本の全世帯が取り組んだ時の
二酸化炭素削減量

34,700,000万トン

÷

日本の1990年の
二酸化炭素排出量

1,223,800,000万トン

×
100

II
日本全体で
2.8%削減



自動車では、こんな取り組みも
行われているんだよ



「アイドリングストップ」をし
ているバスなどがあるよ。



空気を汚すものが少ない排気ガスを出す
「低公害車」を利用しているよ。（電気自
動車、ハイブリッド車、天然ガス車など）

* アイドリングストップ… 人待ちや休憩などで、エンジンをかけっぱなしにしないこと。

《ごみの減量に向けての取り組み》 ごみを減らすことを目的に、ごみ問題に総合的・計画的に取り組む仕組みとして、2000年6月に「循環型社会形成推進基本法」ができました。

2000年6月2日 「循環型社会形成推進基本法」が制定

ごみの減量とリサイクルの推進を図るため、さまざまな立場での取り組みをまとめた法律「循環型社会形成推進基本法」が制定されました。

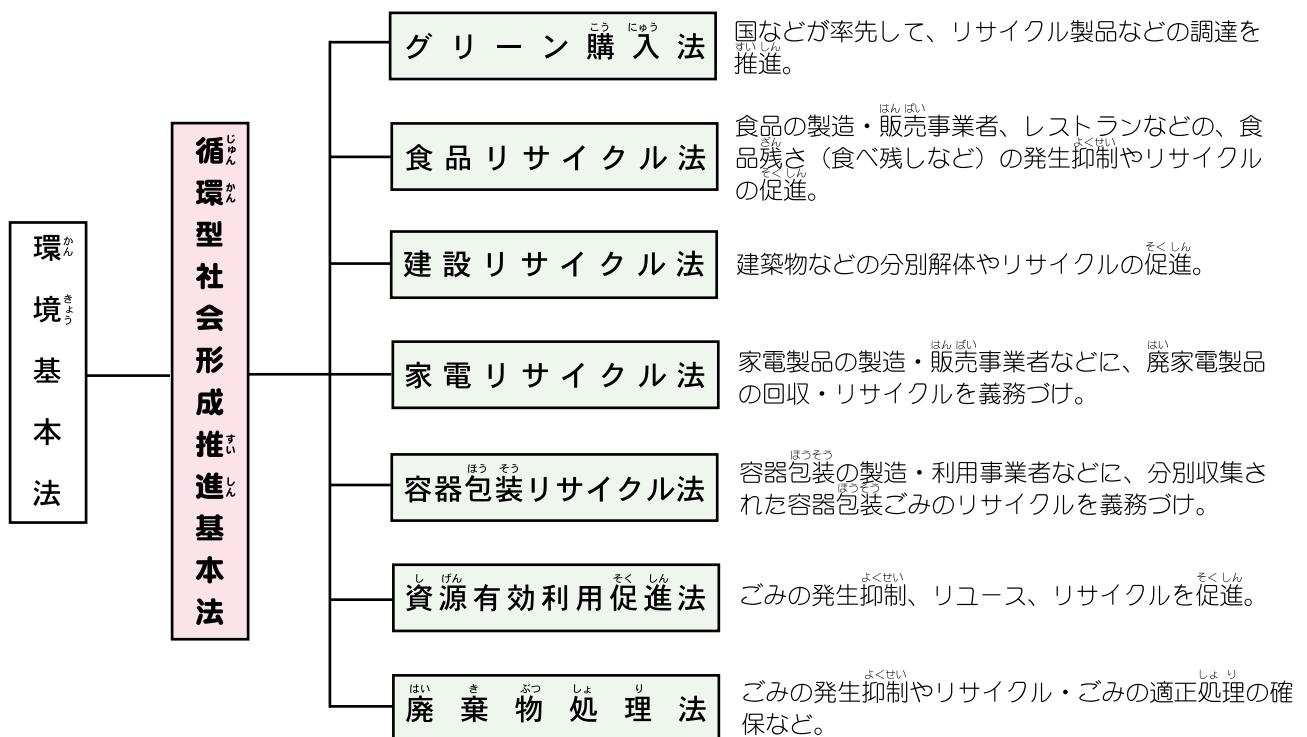
この法律では、ごみの処理やリサイクルの取り組みの優先順位を定めたり、「ものを作る人」「ものを売る人」「ものを使って、ごみを出す人」それぞれの立場の責任などが書かれています。

また、ごみに関するさまざまな法律を、改正したり新たに作ったりして、個別の取り組みが進められるような仕組みになっています。



取り組みの優先順位
は、これだ！

-  出てくるごみをできるだけ減らすこと
-  できるだけ繰り返し使うこと
-  資源としてリサイクルすること
-  燃やして、その熱を利用すること
-  環境を汚染しないようにきちんと処分すること



いろいろな取り組みが始まっているんだね。

一人ひとりの行動と一緒に、家で取り組めることには

- ・太陽エネルギーを利用する

（太陽光発電、太陽熱利用の温水給湯など）

- ・雨を利用する（雨水をためて、トイレや花の水やりに使う）

などがあるよ。

最初から難しいことをしようとするのではなく、できることから始めることが大切です。

